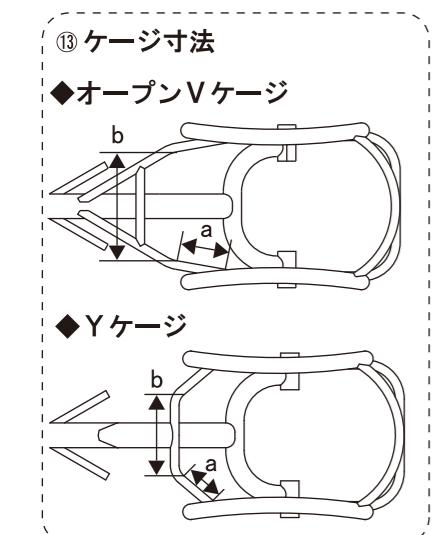


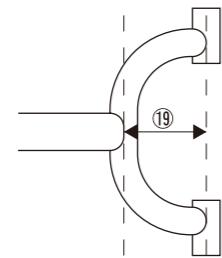
各部指定寸法①から⑯までの項目を確認して注文書にご記入ください。

- ◆寸法基準点
- ①車軸前後位置
- ②後座高
- ③前座高
- ④ヒザ幅(前方・上部)
- ⑤座幅(車軸上)
- ⑥座幅(後方・下部)
- ⑦全長
- ⑧背曲げ寸法
- ⑨ヒザパイプ高
- ⑩ケージパイプ高

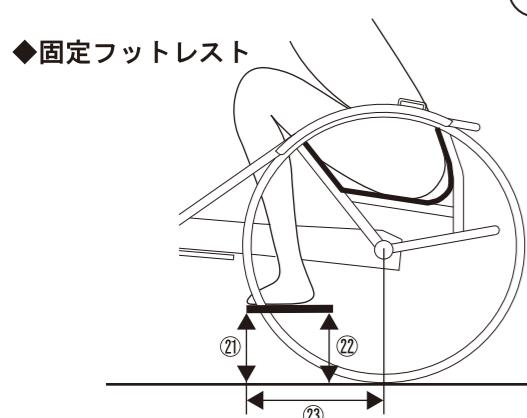
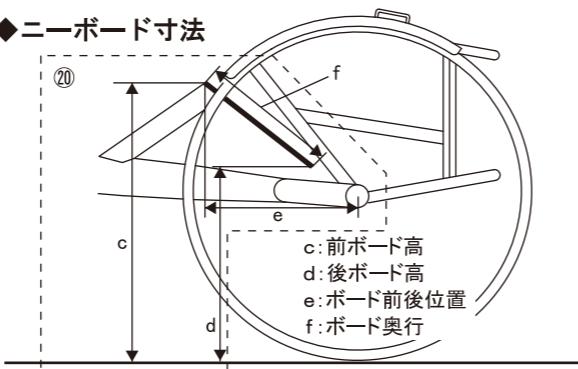
- ⑪背曲げ点高【ペンドのみ記入】
- ⑫ケージ長
- ⑬ケージ寸法(a, b)【オープンVケージとYケージのみ記入】
- ⑭座奥行(シートレザーレング)
- ⑮寸法基準点背面間隔
【バックレストがペンド(曲げ)かアール(円弧)のみ記入】
- ⑯腰ベルト取付フック位置
- ⑰ハンドル長(車軸より)
- ⑱ハンドル幅
- ⑲U字間隔(最大200mmを指定。)
- ⑳ニーボード寸法



◆Uフレーム



◆ニーボード寸法



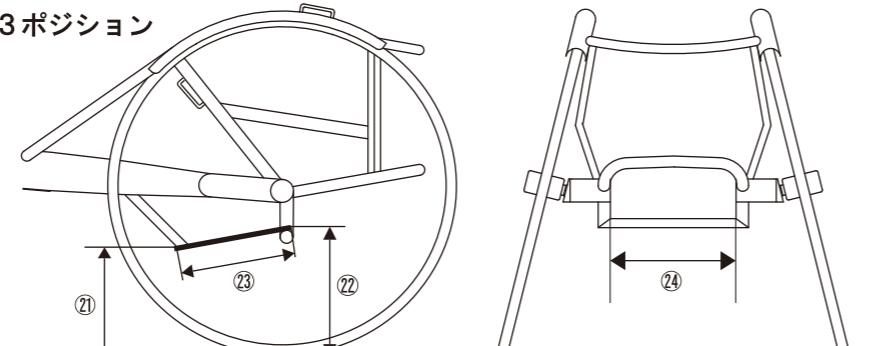
◆固定フットレスト

- ⑪前フットボード高
- ⑫後フットボード高
- ⑬フットボード長
- ⑭フットボード幅

◆T3ポジション

- ⑪前フットボード高
- ⑫後フットボード高
- ⑬フットボード長
- ⑭フットボード幅

◆T3ポジション



GPX 採寸マニュアル



販売元
株式会社オーエックスエンジニアリング
〒265-0043 千葉市若葉区中田町2186-1
TEL:043-228-0777 FAX:043-228-3334

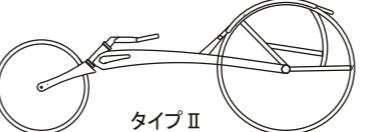
採寸項目

GPX専用の注文書と合わせてご利用下さい。

A モデル

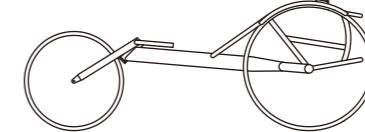
GPXには、フロントフォークやフレーム形状の違いでそれぞれ特性の異なる3機種のラインナップがあります。

◆R 11



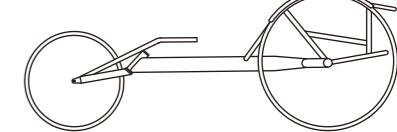
タイプII

◆SR



SR

◆LR



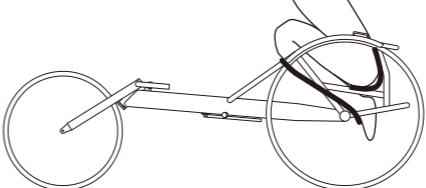
LRの特長は、地面に対し水平にレイアウトしたメインフレームとより低く配置したヘッド。レーサー全体の低重心化により走行安定性は格段に向上了し、ヘッドのプレも大幅に軽減されています。コーナーリング性能は群を抜いています。

B ポジショニング

ポジション(乗車姿勢)は、大きくわけて正座式の「ニールポジション」と、足を下ろして着座する「フットポジション」があります。フットポジションは更に2つのスタイルに分類されます。一般的には、受傷レベルが低く、体幹機能が良い方はニールポジションが適しています。体幹の支持が難しい方はT3ポジションが適しています。T3ポジションは、Uフレーム(「フレーム」項目参照)で、ストラップフットレストかパイプフットレスト(固定式)の選択が必要です。☆R11もストラップフットレスト(アクセサリー)

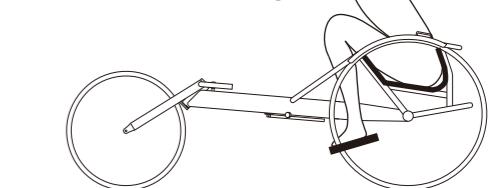
によりフットポジション①にもできますが、注文書では推奨するニールポジションのみを記載。初めてGPXをご購入の方は、ニールポジションで採寸を行い、つり下げ式のストラップ・フットレスト(アクセサリー)をお選び頂ければ、フットポジション①でのご使用も可能になります。また、障害のレベルの違いで、足の踏ん張りの利く方であれば、パイプ式で前後・上下で位置の調整が可能なパイプ・フットレスト(オプション)もお選び頂けます。

◆ニールポジション

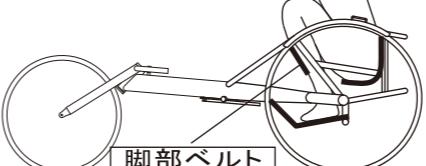


ストラップ・フットレスト
を追加することでフット
ポジションでのご利
用が可能になります。

◆フットポジション①

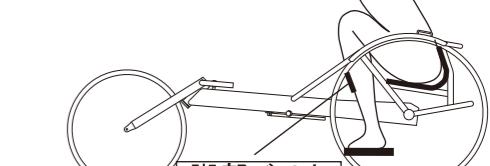


◆T3ポジション



T3ポジションは、Uフレームで、ストラップフットレストかパイプフットレスト(固定式)の選択が必要です。

◆フットポジション②

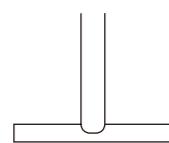


脚部ベルト

C フレーム

フレームタイプは、それぞれご利用の状況に合わせ2タイプをご用意しています。

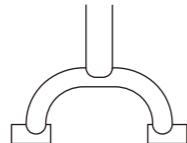
◆ T フレーム



フレームの車軸パイプ部に足が干渉しないでポジションがとれる方は、このタイプをお選び下さい。

車軸パイプ部は、アルミの「STDアクスル」とカーボンの「カーボンアクスル」【オプション】が選択いただけます。

◆ U フレーム【オプション】



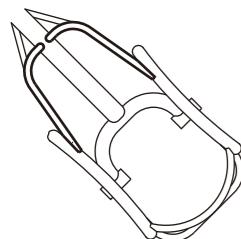
車軸パイプに足(下腿)が干渉する場合は、このタイプをお選び下さい。

D ケージ

ケージパイプは、ポジショニングの重要なポイント。4タイプをご用意しています。☆R11はYケージのみ。

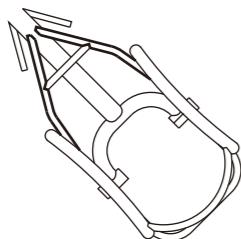
◆ U ケージ

ポジションやヒザの高さを大幅に調整することがあるビギナーの方にお勧めします。



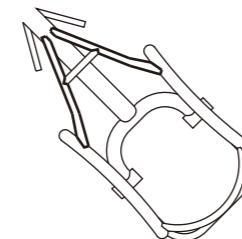
◆ オープン V ケージ

ポジションがほとんど決まり、今後、微調整だけで、ヒザの高さをあまり下げることがない場合にお選び下さい。



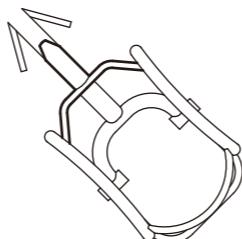
◆ V ケージ

ポジションが決まり、今後、調整の際にヒザの高さを下げるこない場合にお選び下さい。



◆ Y ケージ

ポジションが完全に決まり、ヒザの上げ下げが無く、Vケージなどをご利用頂いている場合で更なる軽量化を望まれる方はお選び下さい。

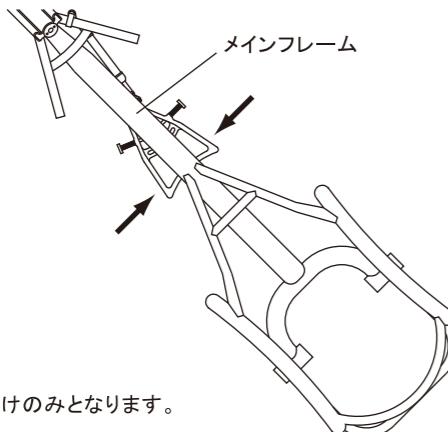


E トランクバー

◆ 上付け ◆ 下付け

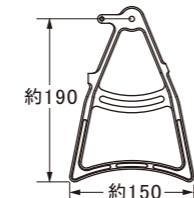
トランクバーは、左のバーを押し前輪を左に傾けた状態に固定。右のバーを押し前輪を直進の状態に戻す操作により、左回りのトランクをハンドル操作をせずに無駄なく走行するための装置です。トランクバーの位置をメインフレームの「上付け」か「下付け」からお選び下さい。

☆カーボンフォーク装着車は、下付けのみとなります。



◆ STD

トランクからロードまで幅広く対応します。操作部が大きく、トランクでのレーン調整も行いやすいトランクバーです。



◆ ショート

主にロードで使用される方にお勧めです。操作部は小型・軽量化し、動作もコンパクトなトランクバーです。



F ブレーキレバー

◆ 右 ◆ 左

左右のどちらでもポジションに適した位置をお選び下さい。

☆ステアリングダンパーの位置により、まれに右側に取付けられない場合があります。

G 前輪サイズ

出場する競技種目に応じてお選び下さい。

◆ 18インチ

既に18インチホイールをお持ちの方は選択可能です。【アクセサリー】(新規)でのお取扱いはございません。

◆ 20インチ

20インチは、18インチに比べ「ころがり抵抗」が少ないと主に中・長距離に使用されています。

☆お持ちの車輪を使用される場合も、サイズデータは必要です。必ずご記入下さい。

☆ご注文の場合は、「注文書」の「アクセサリー」欄にチェックして下さい。(20インチのみ)

☆R11は20インチのみとなります。

H 後輪サイズ / ホイール銘柄・タイヤサイズ / 車軸径

◆ 26インチ

「26インチ」「27インチ」の2サイズがあります。前輪と違い、後輪は体格に応じてお選び下さい。目安としてわきの下から親指と人差し指の付け根までの長さが53cm(21インチ)以内の方は、26インチを。それ以上の方は27インチをお選び下さい。

◆ 27インチ

☆お持ちの車輪を使用される場合も、サイズ、ホイール及びタイヤの銘柄、車軸、車軸径のデータは必要ですので必ずご記入下さい。

☆ご注文の場合は、「注文書」の「アクセサリー」欄にチェックして下さい。

☆R11は27インチのみとなります。

I 後輪キャンバー角

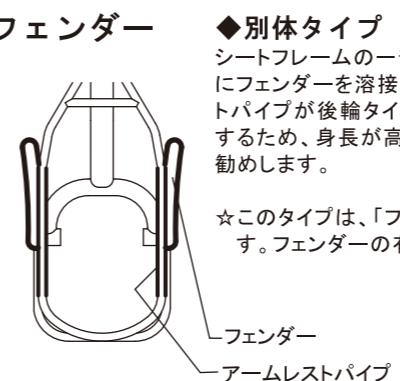
11°～14°の中からポジション、リーチ、フォームなどに適した寸法をお選び下さい。

◆フレームでTフレーム「カーボンアクスル」【オプション】をご選択の場合、12°・13°のみとなります。

J ハンドリム径

外径(ハンドリムパイプの外-外)360mm～400mmの中からポジション、リーチ、フォームに適した寸法をお選び下さい。

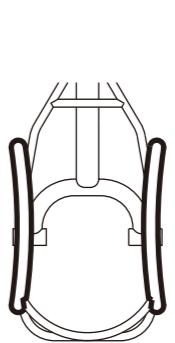
K フェンダー



◆ 別体タイプ

シートフレームの一部となるアームレストパイプにフェンダーを接続したタイプです。アームレストパイプが後輪タイヤよりも一回り外周に位置するため、身長が高く上体が安定しない方にお勧めします。

☆このタイプは、「フェンダー無し」も作製できます。フェンダーの有無もチェックして下さい。

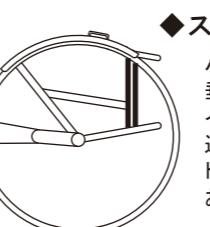


◆ 一体タイプ

シートフレームの一部となるアームレストパイプが無く、高強度のフェンダーがシートフレームの一部となり一体化したタイプです。利点として、身長160cm以下の男性、女性、ジュニアクラスにも対応。座幅の前・後部はキャンバー寸法にしたがって、やや広がります。このタイプは通常品では、後輪の着脱時に、タイヤの空気を抜く必要があります。このため、オプションとして、空気調整をしなくても後輪の着脱が可能な「フェンダーカット」もお選び頂けます。

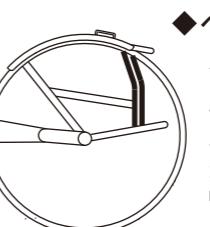
☆「フェンダーカット」は、オプション扱いとなります。

L バックレスト



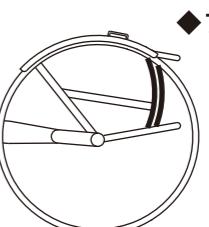
◆ ストレートタイプ

バックレストパイプを垂直に立ち上げたタイプで、下肢切断の選手や腰部のサポートを必要としない方に適しています。



◆ ベンド(曲げ)タイプ

バックレストパイプを途中で前方に曲げたタイプで、様々な障害の選手に適応し、ビギナーからエキスパートまで幅広く使われています。



◆ アールタイプ

既に適合するレーサー寸法をもち、今後ポジションの変更の少ない方に適応する、エキスパート向きのタイプです。

M フレームカラー

無塗装が標準です。フレームペイントをご希望の場合は、当社の色見本からお選び下さい。

その他

◆ 全長について

LRは、SRと同じ全長で作製した場合、メインフレームの長さが短くなり、全長1600mm以下のレーサーに関しては、トラックバーの操作がしにくくなるので、LRの全長は、1600mm以上をお勧めします。

◆ 車軸前後位置

車軸前後位置は、ビギナーの方にとって、最適な寸法を指定しにくい箇所です。この場合、最適と思われる車軸前後位置より20～30mm少なめにして、バックレスト・ベンド(曲げ)タイプの背曲点の寸法を寸法基準点から100mm程に指定し、ベルトの張り調整により車軸前後位置を増すことができます。

◆ 特注について

本マニュアルでは、基本的な採寸方法について書いておりますので、本マニュアルに記載されていない寸法・デザインをご希望される場合は、製作部門(REV)までお問い合わせください。